



あさひ

6月号

令和4年5月31日
横浜市立旭小学校

「思いをもつ力」

「やり抜く力」

「関わる力」

【WEB】 <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/asahi/>

【Instagram】 [asahi_e.s._yokohama](https://www.instagram.com/asahi_e.s._yokohama)

RESTART

“121st SCHOOL YEAR”

あさひっ子、それぞれにとっての運動会

校長 益子 照正

学校教育目標のよりよい実現に向けて、今年度より春の開催に変更した運動会、初夏の天候の中、無事に開催することができました。ここで「無事に」と言っていること自体に、通常の年とは違う感覚になっていることに気づかされます。昨年度と同様、2学年ごとに入れ替えて開催した運動会でしたが、これまでの当たり前が当たり前ではないコロナ禍で、できることを模索してきた末の決断です。ご理解いただけましたら幸いです。

国内に目を向けてみますと、スポーツ競技会は、プロ・アマを問わず通常の姿を取り戻しつつあります。プロスポーツでは、観客の人数制限を解除して行われ始めました。数千人の市民ランナーが参加可能なマラソン大会が復活し、高校・大学のアマチュアスポーツ大会にはチアリーダーが登場するなど、華やかな応援も戻ってきました。高校総体や国体が軒並み中止になった一昨年、オリンピック・パラリンピック東京大会が無観客で開催された昨年からは想像以上の回復ぶりです。学校教育にも、同様の道が開く日が近いのではないかと期待しているところです。

100%ではない形での運動会でしたが、あさひっ子はそれぞれの目標に向かって必死に取り組んでくれました。その真剣な表情を保護者の皆様にお見せできたことが何よりの救いです。

そこで、こんなエピソードがありましたので、紹介いたします。写真の「がんばるぞ」と書き込んだ手を見せてくれたのは6年生の3人でした。私が、本部テントであさひっ子の健闘ぶりを観ていたちょっとした合間に、すぐ隣で運営を務めていた6年生の手の甲に「る」と書かれていることに気づきました。



それが何を意味するのか尋ねたところ、すぐに仲間の2人を呼んできて「今日のために3人で書いたんです」と目を輝かせて見せてくれました。応援団の結成も叶わず、自身の出番も2種目に限定され、活躍の場はわずか1時間少々、そんな中で残念な気持ちや不満がないわけがありません。しかし、その数少ない出番の中、小学校生活の最後となる運動会で「自分たちにできることを精一杯がんばろう」という健気な気持ちに感動させられました。

この他にも、この日のためにけがや病気を治そうと必死に体調管理に努めたり、学級・学年で設定した目標に向かって協力して準備を進めたり、あさひっ子一人ひとりにそれぞれのエピソードが存在したことと思っています。そんなすべてのあさひっ子のがんばりに拍手を送ります。

保護者の皆様のご理解とご協力に感謝申し上げます。アンケートフォーム (QRコード) を用意いたしましたので、どうぞ忌憚のないご意見をお聞かせください。



6月3日まで学校教育概要を動画にて配信しておりますが、「あさひまつり (11月26日開催予定)」についての内容が漏れておりました。今年度より全校児童が参加しやすい環境にしたいという目的で、土曜日ながら登校日として設定しております。お知らせが遅くなりましたこととお詫び申し上げます。